

年頭の

ごあいさつ

養老町長大橋 孝



新年明けまして、おめでとございます。皆さまには、希望に満ちた新春をお迎えることと、心からお慶び申し上げます。

一昨年から続く、新型コロナウイルス感染症の拡大により、昨年も多くの尊い命が犠牲となりましたこと、心よりご冥福をお祈りいたします。また、現在も療養中の皆さまの一日も早い回復を切に願うところでございます。

また、個人・法人、町内外を問わず、多くの方々からご支援を頂いております。これらの温かいご支援は、町のコロナ対策・地域振興・子育て支援等の大きな力となっています。心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルスは新たな変異株の出現を繰り返し、その影響が長期化することで、社会経済に甚大な被害を及ぼしています。感染対策に万全を期しながら、地域経済を活性化させていくことが求められていると感じております。

本町では、「養老Pay」を導入するなど、キャッシュレス決済の普及促進を図るとともに、デジタル化を推進することで急速な社会の変化にも適切に対応できるよう努めているところでございます。

また、働き方改革も急速に進行し、テレワークやリモートワークが定着しつつあります。顔を合わせることなく、業務を行うことができる業種もでてきているのではないのでしょうか。

このような状況の中、本年四月のオープンを目指し、「旧養老町地域福祉センター」

をテレワーク施設に改修しているところでございます。さらには、町内の宿泊施設と連携し、養老町らしいワーケーションプランの開発にも取り組んでいます。様々な働き方に対応し、新たな人々の往来を促進してまいります。

しかしながら、町にとって一番大切な、地域住民による、地域住民のための、地域における活動には、対面による人と人との結びつきが非常に重要であります。大切に育まれ、培われてきた地域住民相互の信頼関係は、災害時の共助の基盤となるものです。この基盤と行政が連携することで、公助の力が最大限発揮され、安心・安全な地域づくりに繋がるものと考えております。

コロナ禍においては、地域活動に対する制限も余儀なくされていますが、感染状況を見極めながら、感染対策を十分に講じ、コロナ禍でもできる、コロナ禍だからこそできる活動を、積極的に支援してまいります。

昨年度から新たにスタートしました「養老町まちづくりビジョン」に掲げる将来像である「人があつまり 楽しく生きがいのあるまち」の実現を目指し、まちや地域への誇りや愛着、シビックプライドの醸成に努めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、本年も町民の皆さまにとりまして、光り輝く素晴らしい一年となりますことを祈念しつつ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

★新成人に贈ることば

新たな門出を迎えた新成人の皆さま、誠におめでとうございます。また、ここまで愛情深く育ててこられましたご家族をはじめ、先生方や地域の皆さまにも心よりお祝い申し上げます。

さて、一昨年に出現した新型コロナウイルスにより、社会は多くの困難と変化に直面しております。しかし、どんな困難な時代も、常に新しい扉を開いてきたのは若い力です。若さあふれる柔軟な「発想」と「行動力」、そして「ひたむき」に挑戦する姿が社会を創り上げてきました。これからの日本、そして養老町の未来を拓き、発展させていくために、皆さまにも若い力を存分に発揮していただきたいと思っております。

さらに、私たちがコロナ禍から学んだことは、人は人との関わりにより成長し、それによってより良くなっていくということです。皆さまが、この先多くの人と出会い、人とのつながりを大切にしてくださることを願っております。

結びに、それぞれの夢や希望に向かって歩いていかれる新成人の皆さまの前途が幸多きことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。